

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく主な取組である「小中学校等における水災害教育を実施」として、平成30年9月21日に富山市立新庄小学校の5年生の授業において、台風の情報や洪水ハザードマップの見方について、生徒の皆さんに理解を深めてもらうとともに、水害から身を守るための行動について学びました。
 今回の授業では、富山河川国道事務所と同様に防災教育支援の取り組みを行っている富山市と富山地方気象台のご協力を得て実施しました。

【水害に備えよう】 富山河川国道事務所



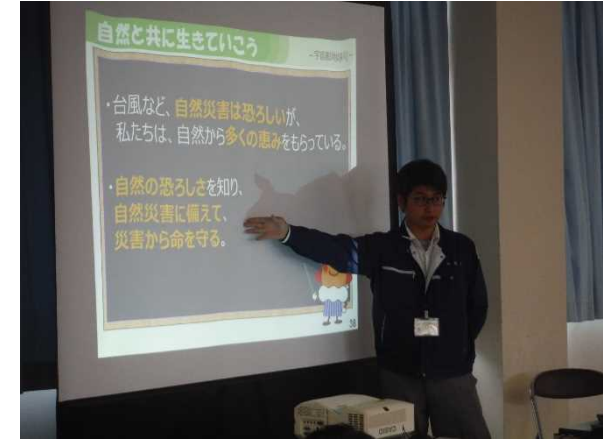
過去に常願寺川で発生した水害や「いのち」を守るための避難行動について学びました。

【ハザードマップを確認しよう】 富山市



ハザードマップを配布し、避難場所とルートの確認、非常時の持ち出し品について学習しました。

【台風のことをもっと知ろう】 富山地方気象台



台風の進路や最新の気象情報、台風は恐ろしいことばかりではなく、水不足の解消などメリットについて一緒に考えました。

新庄小が浸水したら（平常時）



新庄小が浸水したら（50cm）



子供たちに理解して頂くため、浸水した場合のイメージ図を作成

授業を受けた児童からは、
 ○早く逃げるのが大切
 ○避難する建物を確認
 などの感想がありました。